

より強く膨隆すること、基部中央の縦溝はより深いこと、腹部第3・4節の点刻はより深く、明瞭で、黄白色の長毛を密生することなどにより本種と識別できる。

#### 引用文献

- 中根猛彦, 1978. 日本に記録のコメツキダマシの1種. 北九州の昆虫, 34: 138.  
鈴木 互, 2016. 石垣島で採集されたクシヒゲクロツツコメツキについて. さやばねニューシリーズ, (21): 28-30.

(鈴木 互 211-0031 川崎市中原区木月大町 6-1  
法政大学第二高等学校 生物科)

#### 【短報】香川県のマメクワガタの記録

マメクワガタ *Figulus punctatus* Waterhouse は、日本海流によって分布を拡大したと考えられる種である(岡島・荒谷, 2012)。瀬戸内海沿岸の記録は非常に少なく、紀伊水道、豊後水道以北では、愛媛県二神島(山岡, 2000)、兵庫県家島(楠井, 1992)の記録しかない。香川県産コガネムシ上科をまとめた三木(2007)のリストにも本種は掲載されておらず、香川県未記録種と考えられる。筆者は、香川県で得られた本種の標本を所有しているので、記録を報告する。

lex., 香川県琴平町象頭山, II. 1986, 三宅武採集(図1)

採集者である三宅武氏に当時の状況を伺ったところ、「日付は覚えていないが、1986年2月のある日に金比羅神社参道の石段を少し登って左の山道を登り、道脇のやや古い倒木をナイフで削って掘り



図1. 香川県産マメクワガタ。

出した。時間がなく、1頭だけの採集だった」とのことであった。象頭山(琴平山)は、香川県内で最も広範囲に照葉樹林が残された地域であり、甲虫相の調査も1970年代から行われているが、これまで同属のチビクワガタ *Figulus binodulus* Waterhouse しか記録されておらず(佐藤, 1975など)、本種の個体密度は低いものと思われる。なお、チビクワガタは県内の平地から低山地にかけて広範囲に記録され

ており(佐野, 1991など)、朽ち木採集だけでなく、灯台下でも比較的普通に採集できる。

今後、瀬戸内海沿岸も、社寺林や海岸林の調査で、新産地の発見が期待される。既に故・高橋寿郎氏が、「瀬戸内の島々に分布している可能性も高い」と述べているが(兵庫昆虫同好会編, 2000)、家島から比較的近い小豆島など、今後の調査による発見が期待される島も多い。今回記録された象頭山からの再発見も期待されるが、当地はその大部分が「こんぴらさん」として有名な金刀比羅宮の敷地となっているため、神社側の許可を得て、景観に配慮した調査を行うべきである。

末筆ながら、貴重な標本を筆者に恵与され発表を快諾いただき、種々のご教示をいただいた大分県の三宅武氏、文献入手にあたってお世話になった久末遊氏、楠井善久氏、吉富博之博士に厚くお礼申し上げる。

#### 引用文献

- 兵庫昆虫同好会編, 2000. 兵庫県のクワガタムシ(1)故高橋寿郎氏遺稿集 No.1. きべりはむし, 28(1): 3-11.  
楠井善久, 1992. 家島(兵庫県)のコガネムシ上科. LAMELLICORNIA, 8: 19-21.  
三木武司, 2007. 香川県のコガネムシ上科甲虫. 香川の生物, (34): 41-54.  
岡島秀治・荒谷邦雄監修, 2012. 日本産コガネムシ上科標準図鑑. 444 pp., 学研教育出版.  
佐野信雄, 1991. チビクワガタの一生態と県下での分布. へりぐろ, (12): 32-33.  
佐藤正昭, 1975. 香川県象頭山の甲虫類(2). 月刊むし, (47): 30-33.  
山岡幸雄, 2000. 瀬戸内島嶼二神島にマメクワガタ産す. 愛媛の虫だより, (92): 15.

(藤本博文 760-0005 高松市宮脇町1丁目17-4)